

町長室から

田上町長
佐野 恒雄

田上町の木、「さくら」の花が咲き誇る季節になりました。

今月号から、「町長室から」と題して、町長としての思いや町政に対するメッセージを、町民の皆様にお届けしたいと思っています。

私は、田上で生まれ、田上で育てられ、田上の歩みを見てきました。田上町は、これまでの私の人生の中心です。

田上町には、実にたくさんの方々の魅力があると思います。自然が溢れ、田畑が広がり、温泉があり、新潟や三条に近く、何より人情厚い人達が大勢います。

私は、この田上町の魅力を町外に強く発信して、多くの方に町に来ていただき、町の農工商が発展することを目指します。そして、誰もが「田上町に住んでみたい、住み続けたい」と思ってもらえる町づくりを行い、町民の皆様が幸せになるための政策の実現に、最大限の努力をする決意です。

課題も多々あります。清掃センターの問題に取り組みなくてはなりません。町民の皆様の安全とライフラインを確保しなくてはなりません。

商業施設「プラント」の進出が取りやめになったことは、大変残念ですが、決して後ろを向く必要はありません。皆で知恵を出し合い、「オール田上」で力を合わせて前向きに取り組めば、必ず道は開けると信じています。

「町民の幸福を追求する町づくり」を基本に、全職員が一丸となって頑張つてまいります。

どうか、町民の皆様のご支援、ご協力をよろしく申し上げます。

「今日の後に今日なし」、私はこの言葉が好きです。今日という瞬間はもう二度と戻ってこない。だから今日という日を無駄にしないで一日一日を大切に過ごさなければと思うからです。若い時には時間なんていくらでもあると思っていたものです。今日が駄目なら明日もある、明後日もある。そんな感じで毎日を送っていたような気がします。

今年も桜の咲く頃となりました。さくら、日本人の心にほんなにも寄り添ってくれる花がほかにあるでしょうか。はらはらと春のそよ風に音もなく舞い散る桜。武士道にも似た散り際のはかなさ、潔さ、そんなところが日本人の精神、心に強く訴えかけて来るのかも知れません。

そんな桜、秋田角館の枝垂れ桜を見に行きたいと毎年思うものの、いまだに実現していません。今年こそはと思うのですが、妻のぼやきが今から聞こえてきそうな気がします。

